

11/14・21・
28・12/5

小学校かけっこ教室

西部総合公園多目的グラウンドを会場に、小学生かけっこ教室を開催しました。市内の小学生50名が参加し、講師として茨城陸上協会強化コーチの住谷利勝先生と市東京オリパラ推進室の本多美月主事、また、助手として茨城大学の陸上競技部5名の方々が、遊びの要素を取り入れたプログラムで、走るときの姿勢や足の動かし方などをていねいに指導しました。

教室では、走ることが好きな子はもちろんのこと、運動が苦手な子も笑顔で意欲的に取り組んでいました。閉講式では住谷先生から「子供のうちにいろんなスポーツに触れ合うことが大事」と参加した子供たちへメッセージが送られました。



▲青空の下で、思いっきり走りました！

11/28・30・
12/2

御前山・那珂川広域連携協議会の地域案内人が活動しています

常陸大宮市と城里町は両市町に跨る御前山地域に特化した観光事業を平成28年度から広域連携で展開しています。「御前山・那珂川地域案内人」もその一つで現在6名の案内人が在籍し、地域案内等の活動を行っています。

このほど県内のツーリストからの依頼を受け、「清流那珂川を望む御前山紅葉ハイキング」のガイドを務め、コース案内のほか御前山の歴史や那珂川の説明などを行い、ツアー客は熱心に耳を傾けていました。今後も協議会独自の企画や依頼に応じた案内を展開していく予定です。



▲御前山東登山口～青少年旅行村ルート
「第2あずまや」で撮影

11/29

常陸大宮市海外出身者による日本語スピーチコンテスト

国際交流ボランティアばらの会主催の「海外出身者による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。市内に在住・在勤されている10名の海外出身者の方々がそれぞれ自由なテーマでスピーチをしました。発表者の皆さんは非常に流暢な日本語で自信を持って発表されており、その姿からは、一人一人のこれまでの努力が伝わってきました。どのスピーチも興味深く、心温まる内容に、来場者の方々も真剣に耳を傾けていました。本コンテストは初めての開催でしたが、海外出身者と市民の方々がお互いに異文化理解を深める素晴らしいコンテストとなりました。

【結果】

○金賞 テガル・アブデル・ジャッバルさん
「メイドイン ジャパン」

- 銀賞 チャン・ティ・グエットさん
「どうして介護の仕事なの？」
- 銅賞 クワット・トゥアン・ティンさん
「日本に来た理由」
- 若鮎賞 ニック・ウェルバーンさん
「私はでぶっちょです」



▲金賞に輝いたテガル・アブデル・ジャッバルさん

12/4

秋季善行表彰

令和2年度日本善行会秋季善行表彰において塩沢二通さんが受賞されました。

塩沢さんは、長年にわたり街頭立哨交通指導や市内行事等での交通整理、交通安全運動期間における街頭キャンペーンなどの交通安全協会活動を通して、地域の交通安全の確保と交通安全思想の普及に尽力され、地域での交通事故防止に多大な功績があるとして、授与されました。

現在も活動を継続し、道路通行者の安全と交通事故防止に貢献されています。



▲（右）塩沢 二通さん

12/9

女性学級ブルーローズ第2回学習会を実施

常陸大宮市教育委員会生涯学習課では、女性が暮らしの中から課題を見つけ、共に学習し、教養と生活を高めるとともに、仲間づくりを進めることを通して、住みよい地域づくりを目指して活動する団体・グループを支援するため、女性学級を開設しています。令和2年度は4学級を開設しています。

女性学級ブルーローズは、日常生活に役立つおしゃれな作品の製作や家庭生活や子育てに役立つ学習会などを、毎回楽しく行っています。

今回は、ひたまる先生の檜座直子氏を講師に招き、常陸大宮産のフレッシュグリーンを使った、クリスマスの丸い壁飾りの製作を行いました。

針葉樹やユーカリなどを円形になるように形作った後、自分の好みの松かさやミニリング、リボンなどを飾りつけ、素敵な壁飾りができました。



▲作成に夢中！



▲完成した壁飾り

12/9

市建設業協会でボランティア活動実施

常陸大宮市建設業協会（加盟14社）が、きれいな道路で年末年始を迎えてもらおうと、道路清掃（ゴミ拾い）を実施しました。

このボランティア活動は毎年実施され、今回も2グループに分かれ、広範囲にわたり清掃されました。

寒い中での活動、ありがとうございました。



▲ありがとうございました

12/11 上野小学校で詩の授業

詩を通して表現力を養おうと、上野小学校の6年生が、茨城大学名誉教授である橋浦 洋志先生を講師に迎え、詩作の授業をうけました。

授業では、子供たちが事前に作った詩の中から5つの詩を例に挙げ、言葉の使い方や表現の仕方など、詩を作る上で大切なことを、橋浦先生がていねいに指導しました。

子供たちは、真剣なまなざしで授業を受け、最後の質問タイムでは、次々に手を挙げ、詩に対する疑問や悩みなど、たくさん質問しました。



▲熱心に耳を傾けて、話を聞いていました

12/13 国際交流フェスティバル

市国際交流協会主催の「第11回国際交流フェスティバル〜対話・連帯・共助〜 Special festival of the year 〜」が開催されました。ステージ発表はベトナムの竹笛演奏やジャマイカダンス、中国語での合唱、太鼓演奏や抜刀道演武など様々な国の文化に触れることができる内容でした。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により収容人数や時間など多くの制限がある中での開催となりましたが、万全な感染対策をとりながら、海外出身者と市民の方々の交流を深めることができました。



▲全員で記念撮影！

12/15 緒川小学校で生き物や自然について学びました

昨年10月ごろから緒川小学校の校庭にイノシシによって掘られたあとが見られるようになり、子供たちが「この穴は何だろう？」「なぜイノシシは穴を掘るのだろう？」と疑問に思い始めたことをきっかけに、市内でイノシシ駆除を行っている増山 洋治さんを講師に迎え、3年生が生き物と自然の繋がりについて学びました。

イノシシはエサを求めて、生きるために近くまでくることが、イノシシを捕るではなく、命をいただいているという思いで駆除を行っているなど、身近な自然の現状や動植物を含めた命の大切さについて学ぶことができました。



▲積極的に手を挙げて、発言する子供たち

12/22 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会が発足しました

常陸大宮駅を中心とした子育て支援や多世代の市民交流の場となる交流拠点整備を推進することを目的に、令和2年12月22日（火）に「第1回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会」が開催され、市長から委員へ委嘱状が交付されました。

委員会は、学識経験者や関係団体の職員をはじめ、若者の幅広い意見を取り入れるため、大学生、市内高等学校・中学校の生徒で組織し、「常陸大宮駅西交流拠点基本計画」を策定します。



▲常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会委員の皆さん

12/
18, 19

交通社会実験を実施しました

令和2年12月18日（金）・19日（土）に、常陸大宮駅前通り（都市計画道路大宮停車場線）において、JR常陸大宮駅周辺の整備を見据え、道路空間の利活用や歩きやすい歩行空間を創出した『歩きたくなるみちづくり』に関する交通社会実験を茨城県と共同で実施しました。

歩く速度別の歩行者レーンの設置、次世代型電動車椅子の試乗、キッチンカーの出店などを行い、子ども広場では、お菓子のリュック作りやひたまるが登場し、みんなが楽しめるイベントとなりました。

イベント参加者にご協力いただいたアンケートは、今後の整備に役立てていきます。



▲歩行実験の様子



▲電動椅子体験



▲お菓子リュック作り

12/19 マインドボディーヒーリング講座 ×ハーブティー交流会開催

地域おこし協力隊の古澤隊員が、マインドボディーヒーリング講座を開催しました。マインドボディーヒーリングとは身体に起こる症状のメカニズムを理解することで、症状を改善させていくというプログラムで、当日は自然体研究所の小松氏に講師を依頼して実施しました。

今回は大宮高校の生徒も参加していたため、講座終了後には古澤隊員自家製のハーブティーを振るまい、参加者全員での交流会も実施しました。ハーブティーも好評で、参加者は最後までイベントを楽しんでいました。



▲参加者と交流する古澤隊員（写真中央）

12/20 くくり毬づくり ワークショップ開催

地域おこし協力隊の松原隊員が、より多くの方に狩猟への興味を持ってもらうことを目的に、くくり毬づくりワークショップを開催しました。

参加者は松原隊員が作成したマニュアルに沿って、くくり毬づくりに取り組みました。松原隊員の丁寧な説明により、全員が1時間程度で毬を完成させることができました。ワークショップ終了後も狩猟に関する情報交換を行い、参加者全員で狩猟への理解を深めることができました。



▲作り方を指導する松原隊員（右から2番目）

12/
19、20

スケート教室開催

笠松運動公園山新スイミングアリーナ（屋内アイススケート場）において、市内小学生4～6年生を対象としたスケート教室を開催しました。

2日間で71名の児童が参加し、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、現地へバスや自家用車で移動しました。教室は例年よりも短い時間での開催となりましたが、最初に立ち方や転び方など基本動作を指導していただき、班に分かれてスケートリンクに入ると、最初は不安そうな様子で、立つことも精一杯だった子供たちが、教室の最後には、スイスイと滑れるようになりました。



▲一生懸命練習しました

12/28

火災に伴う 消火活動協力者表彰

令和2年11月4日に下檜沢地内で発生した建物火災において、早期に初期消火を実施したとして、鈴木 良一さんと平塚 秋子さんが表彰されました。

鈴木さんは、延焼中の住宅を発見し、延焼物の除去を実施したのち、平塚さんから借用した消火器を使用して、初期消火を実施し、母屋への延焼拡大を防ぎました。

いち早い消火器の提供と消火活動によって、延焼拡大を防いだ功績は非常に大きなものです。



▲（左から）平塚 秋子さん、鈴木 良一さん

12/
7-18

市議会定例会

令和2年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月7日から12月18日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決、認定及び同意されました。

条 例

- 常陸大宮市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市職員の特殊勤務手当に関する条例及び常陸大宮市国民健康保険美和診療所職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市税外諸収入の滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市山方農村集落多目的共同利用施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市営グラウンドの設置及び管理に関する条例
- 常陸大宮市都市公園条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

令和2年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計(2会計)補正予算

その他

- 専決処分の承認を求めることについて
（常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例）
- 令和2年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について
- 財産の取得について
（小中学校学習用パーソナルコンピュータ）
- 指定管理者の指定について
（おおみやコミュニティセンターほか32施設）
- 友好都市協定の締結について
- 指定金融機関の指定について
- 市道路線の認定・廃止について
- 教育委員会委員の任命について
宮本 亜希子
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
金子 正平、井樋 代里子